

# 日本庭園学会ニュース

The Academic Society of Japanese Garden News

NO. 106

令和3年(2021年)

令和3年度日本庭園学会  
関西大会の開催について

発行 日本庭園学会(会長 大澤 伸啓)  
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1  
東京農業大学 地域環境科学部  
造園科学科 庭園技法材料科学研究室  
TEL(03)-5477-2428(粟野 隆理事)

## 令和3年度日本庭園学会関西大会の開催について

新型コロナウイルスの流行により、現在も多くの都道府県が緊急事態宣言下にあることから、本年度の関西大会は11月にオンラインで開催いたします。現地検討会は見送りますが、研究発表会を開催するほか、日本庭園学会は来年度、設立30周年を迎えるという大きな節目に当たることから、そのイベントとして公開シンポジウムを行うことといたします。会員外のみなさまもお誘いの上、ふるってご参加のほどお願い申し上げます。

なお、関西大会への参加をご希望の方は、事前に参加申し込みの上、Zoomを利用できるパソコン等の環境をお整えくださいますようお願いいたします。

### 記

#### ◆日程

2021年11月6日(土) 10:00～17:30(予定)

#### ◆概要

公開シンポジウム・研究発表会・オンライン懇親会

#### ◆大会参加費

公開シンポジウム・オンライン懇親会は無料です。  
研究発表会については、非会員のみ500円。

#### ◆参加申込期限 2021年10月28日(木)

後述の申込み・問合せ先へ①氏名、②会員種別(正会員・学生会員・非会員)、③参加するプログラム(公開シンポジウム・研究発表会・オンライン懇親会)、④連絡受信用電子メールアドレス、⑤当日に連絡がつく電話番号を明記して電子メールで申込

んでください。非会員で研究発表会に参加される方は、申込み期限日までに参加費を振込んでください。当日のZoomのIDとパスワードは11月4日(木)ごろ電子メールでお送りいたします。

#### ◆大会参加費振込先(郵便振替)

加入者名:日本庭園学会 口座番号:00140-3-659842  
非会員研究発表会参加費振込期限:10月28日(木)

#### ◆関西大会資料・研究発表要旨集

関西大会参加者にPDFで配布し、講読会員には後日、印刷物を送付します。関西大会への参加をお申込みいただき、参加費を入金いただいた方には、ご指定の電子メールアドレスに当該のPDFを閲覧するためのパスワードをお知らせします。つきましては、学会ホームページにPDFをアップロードしますので、各自でダウンロードしていただきますよう願います。

## ◆プログラム

- 9:45 ~ 10:00 受付  
(Zoom 利用に際しての、入室者の  
チェック及び許可作業)
- 10:00 ~ 10:10 開会あいさつ
- 10:10 ~ 12:10 公開シンポジウム  
「日本庭園学会の30年  
関西からの提言」
- 12:10 午前の部終了
- 13:30 ~ 16:30 研究発表会  
※終了時間は発表件数により変更  
になります  
  
閉会あいさつ 日本庭園学会長
- 16:45 ~ 17:30 オンライン懇親会  
※研究発表会終了15分後に開会予定

## ◆各種申込み・問合せ先

全国大会参加申込み、研究発表の申込み先・  
要旨集版下原稿の送付先は下記までお願いしま  
す。質問等も電子メールにてお願い致します。

電話・郵送での申込み・問合せには応じられ  
ませんのでご了解ください。

宛先：関西支部長 仲隆裕  
電子メール：naka@kua.kyoto-art.ac.jp

## ◆研究発表への申込み

研究発表会での発表希望者は、次の要領に  
従って申し込んでください。発表時間は、一人あ  
たり20分とし、発表15分、質疑応答5分を  
予定しています(但し、発表者数によって変更  
する場合があります)。

発表は、オンラインとなります。研究発表  
は Web 会議サービス「Zoom」にて行いますの  
で、Web カメラ及び Web マイクを搭載したパ  
ソコン、あるいは外付けの Web カメラおよび  
Web マイクをご用意ください。

## 【発表申込み方法】

発表者氏名・所属・題名・連絡先(住所、電  
話番号、電子メールアドレス)・会員種別を明  
記し、発表概要(200字程度)を添付のうえ上  
記記載の「各種申込み・問合せ先」へ電子メー  
ルで送付してください。

## 発表申し込み期限

2021年10月18日(月)12:00 必着

## ◆発表要旨 執筆要領

全発表者分を研究発表要旨集として PDF  
ファイルとし、それぞれ大会参加者に配布しま  
す。原稿はそのまま要旨集の版下とするため、  
ワープロソフトを使用して作成願います。

分量は、A4判で6ページ程度とします。  
Microsoft Word もしくは PDF ファイルを左記  
の「各種申込み・問合せ先」まで送信してくだ  
さい。

1ページあたりの文字数及びページレイアウ  
トは、学会誌の論文の書式に準じてください  
(横書き2段組、1段あたり25字40行)。

なお、書式は日本庭園学会ホームページから  
ダウンロードが可能です。申込みと資料提出の  
締切日は厳守してください。

## 発表要旨提出期限

令和3年10月25日(月)必着

## 公開シンポジウム：日本庭園学会 30 年 関西からの提言

1992年（平成4）に産声をあげた日本庭園学会（Academic Society of Japanese Garden）は、2022年（令和4）に創立30周年を迎えます。

日本庭園学会では新企画オンライン・セミナー（リレートーク）「庭と園に学ぶ～日本庭園・学のこれまでとこれから」を毎週月曜日に開催することとしました。

今回の公開シンポジウムは、このプレ・イベントとして、これまで関西地区で活躍してこられた会員をパネラーとして、様々な実践智（現場の肉声）と思考智（研究の成果）について語り合い、日本庭園学のこれまでとこれからを展望していきます。

10:10 公開シンポジウム 開会  
趣旨説明

10:15～ 話題提供1  
日本の庭 これからにつなぐ意味と形  
岡田憲久  
(名古屋造形大学名誉教授、  
設計集団タブラ・ラサ主宰)

話題提供2  
素材（石）から見た日本庭園の  
魅力とこれから  
張 平星  
(東京農業大学地域環境科学部造園科学科)

話題提供3  
「庭園考古学」の視点  
杉本 宏  
(京都芸術大学歴史遺産学科)

話題提供4  
学の厳密性と社会に開かれた庭の研究  
今江秀史  
(元離宮二条城事務所)

11:15～ ディスカッション  
「日本庭園・学」の魅力を探る  
コメント：大澤伸啓  
(日本庭園学会会長)

12:10 閉会  
司会進行：仲 隆裕  
(日本庭園学会関西支部長)

\*オンライン・セミナー（リレートーク）の  
詳細は、7ページをご参照ください

## Zoom を利用したオンライン大会に参加して

有限会社 春秋設計工房 松本恵樹

私は、6月26日に上記の大会をZoomを利用して自宅にて参加（それとも拝聴？）した。福井県はまだ訪れた事が無いので、昨年、今年と早々にホテルを予約して楽しみにしていたが、コロナの状況を鑑みて2年連続で現地での開催は中止となり残念であった。

当日は、9:35からの研究発表会から参加した。昨年もZoom開催で発表は2名との事でしたが、今年は8名の方の発表があり、学びが多く、画面を通して熱心に発表する姿を見て、とても嬉しく、心を打たれ、そして勇気を頂いた。

午後は、公開オンライン座談会「コロナ禍の日本庭園：未来への展望～保存整備・維持管理・活用運営の課題」というテーマで、3人のそれぞれの立場から話題提供があった。

東京都公園協会の菊池正芳さんからは、都立の9庭園の指定管理者という立場からお話があった。コロナ禍で閉鎖になった期間を利用して普段お客さんがいる時はできない大木となった支障木の伐採や園路の補修、テレビカメラを設置してIT化を図った事、非接触による入場料の徴収の導入等、むしろ閉園できた事により実施できた事のメリットの話が多く、積極的な姿勢でコロナ禍を過ごした逞しさを感じた。

二人目の福井県一乗谷朝倉氏遺跡資料館の藤田若菜さんからは、一乗谷朝倉氏遺跡をコロナ禍にどのように公開していったか、そしてアフターコロナに向けたサービスについてもお話があった。大河ドラマやプラタモリ等のテレビ番組の影響で来訪者がコロナ禍でも多かったとの事。大都市圏からのお客さんではなく、近所や県内からのお客さんが多く、室内ではなく屋外のイベントを増やし見学会を行い好評だったとの事。少人数を対象にしたから説明が密にできてかえって良かったのではないかと感じた。前述の大都市東京とは違った、地方ならではの試みが面白かった。2022年秋には内藤廣さん設計の新しい博物

館もオープン予定で是非行ってみたい。

三人目の京都市の今江秀史さんは普段は二条城でお仕事をされていますが、今回は京都の庭園業の方がコロナ禍をどのように過ごしたかといった話があった。仕事量が減ったという事はあまり無かったが、会合が出来ない、新人と腹を割って話せないと、コロナ禍のコミュニケーションの難しさを感じた。二条城は令和2年度に比べれば数億円の収入減との事。また一方で国内外からのお客さんが少ないので、金閣寺等もゆっくり見られて今迄にない感覚も味わえたと話があり面白かった。

その後の意見交換会では、アメリカから来日されている内山さんから、コロナ禍になりすぐにアメリカ国内の有料の庭園や植物園を運営している団体が話合い、コロナで苦勞されている医療関係者に無料開放を決めた話。フランスの水真洋子さんからは日本では無いロックダウン、本当の都市封鎖状況時の生の声も聴けた。これらはZoom等のツールを使ったから体感できた事である。

私は還暦が近くなった。近頃感じるのは、人間というのは単純だな、やっぱり笑顔に勝るもの無し。万国共通、笑顔最高。皆様、来年の全国大会は笑顔でお会いしましょう。

## 令和3年度日本庭園学会全国大会 公開オンライン座談会のレポート

小山拓朗（東京農業大学地域環境科学研究科造園学専攻 大学院1年）

令和3年度日本庭園学会全国大会は、2021年6月29日（土）にZoomにて開催された。昨年度から流行している新型コロナウイルスによって生活様式が少しずつ変化し、会議や学会のオンライン開催は日常化している。会員の皆様が生活様式の変化に順応され、様々な地域からオンライン上で集まり時間を共にして多くの研究発表や議論が交わされ大変有意義であった。公開オンライン座談会は、『コロナ禍の日本庭園：未来への展望～保存整備・維持管理・活用運営の課題』をテーマに、鈴木誠（東京農業大学グリーンアカデミー）の司会進行で菊池正芳（東京都公園協会）、藤田若菜（福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館）、今江秀史（京都市）の3名が話題提供者として開催された。

菊池正芳さん（東京都公園協会）からは、コロナ禍における東京都立庭園の対応の報告があった。東京都心部に位置する文化財庭園9箇所では、コロナ禍の閉鎖期間は157日で庭園全体の入園者数は前年度の70%減だった。開園期間には、新しい生活様式に対応した管理運営として、園内のソーシャルディスタンス対策や検温消毒、事前予約制度の導入などが行われている。また、各庭園の特性に応じた動線誘導や滞留抑制・混雑緩和、感染対策を行っていた。閉園期間には、日常管理ではできない作業が3つの視点で行われ、美しい姿で来園者を迎える準備をしていた。

- ①安全対策上実施が困難であった管理作業
  - ・大規模な樹木の伐採や園路補修
- ②景観上の配慮から大規模に出来なかった作業
  - ・州浜のぐり返しや流れの改修・清掃
  - ・一度に全面的な改修
- ③短期間に集中してできる作業
  - ・土系園路の補修
  - ・階段の補修
  - ・池の堆積物の除去
  - ・旧岩崎邸の暖炉の清掃では新たな発見につながった

新たな取り組みとしては、SNSを活用し庭園の作業風景や魅力を発信したり、来園予約システムの構築や滞留者カウンターを設置、入場の分散化や適正な入園者数を把握できたりとコロナ禍の学びがあった。今後の都立庭園の質や利便性の向上が期待できる。

藤田若菜さん（福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館）からは、昨年日本庭園学会で現地開催予定地でもあった“国宝級”の史跡の一乗谷朝倉氏遺跡の現状が報告された。朝倉氏滅亡後、城下町は再興されず田畑に転化されたことにより、戦国城下町がほぼ残存している事から、街並みは特別史跡、4箇所の庭園は特別名勝に指定されている。コロナ禍のイベントは中止が多かったが、厳格な入館者管理（4㎡/人）や感染対策を徹底した開催が行われていた他、YouTubeで庭園の解説や重要文化財遺物の紹介を行っていた。令和3年度は屋外イベント（遺跡ウォーク）の反響が多かったという。資料館の学芸員と文化財調査員の様々な視点での解説を行い、県内在住者に向けて魅力を発信し、地元で愛される遺跡・庭園空間となる機会となった。また、ハンズオンイベントの実施もされ、2022年秋にオープン予定である新博物館の展示試行を兼ね展示内容の有効性の検証と共に感染症対策の運営法も試行している。

今江秀史さん（京都市）からは、京都の庭師（花豊造園株式会社の山田耕三氏）と行政の視点からコロナ禍の状況が報告された。京都では、今のところ懸念段階で仕事には大きな影響はないが、工事の延期がある事が事実である。しかし、顧客（庭の所有者）の経済状況が大きく関わるので顧客の今後の経済状況で影響があると思われる。会社としては、社員や顧客とのコミュニケーションの取り方が難しいという。コロナ禍で飲食を伴う会合ができなくなり、リモート会議が増えたことで“腹を据えて”

話し合う機会が減った。顧客との対面の打ち合わせも少なくなり意思の統一が難しいようだ。庭の仕事は独りよがりではできない為、対面で時間を共にして話し合うことが大変重要だ。行政としては、来年度以降一律の予算削減や事業の延期などの影響があるとの報告があった。そして、今後は公共事業の仕事量は減っていくと予測しており、業者同士で仕事の取り合いになり公共庭園の管理の質の低下を招く恐れがあると危惧していた。造園設計分野に従事する参加者からは、仕事量は相対的には順調であるが、行政の予算が少ない仕事は工期が伸びている事や打ち合わせがやりにくい事が報告された。

総合討論では、コロナ禍における庭園の情報共有がされ、アメリカやフランスの状況も報告された。コロナは一時的な災害ではなく庭の主体となる人間に対して長期的な影響が懸念される。庭園文化は人抜きでは語られない為、その主体となる人間に対する影響や責任とも考えられるとの声があった。アメリカでは、医療従事者や消防・警察などのコロナ禍でストレスを感じている方々に対して庭園や植物園等を解放した動きがあった。フランスでは、外出制限期間に公共緑地の重要性が高まり、解除後には公共緑地での文化教育活動がみられている。また、海外旅行ができない状況の為、世界各地にある日本庭園が旅行気分を味わえるといった存在意義が確認され

ている。生活様式の変化と共に多くの学びや動きがあり、対面でしかできなかったことが国際的に可能となり、日本庭園の国際シンポジウムやセミナーも行われている。現地に行けない分だけネットワークが充実している事であろう。後半には、日本庭園の新しい利用や“今を生きる人たちが求めるものは何か”、次世代に繋ぐ公共空間の在り方、現代そして世界に意味のある日本庭園の今後が展望された。

昨年度はオンライン開催では不安な所もあったが、本年度は通常の事として行われるようになってきている。数年前までは考えられなかった事が時代と共に変化し、生活の中に入ってきていると感じている。日本庭園の歴史を辿ると、時代ごとに様式や利用が変化してきた過去がある。今回の座談会で様々な対応の報告がされたが、日本庭園の歴史の様に“今の時代”に合わせた変化がされ始めていると感じた。コロナ禍という大変な状況での学びや経験は日本庭園の発展に大きな糧となるだろう。そして、人と庭園の繋がりが深い日本庭園は、世界からも注目されており、技術や技能だけでなく精神面の伝承も求められているのではないかと感じた。2年延期した福井大会の無事開催、そして皆様のコロナ禍の経験を活かした日本庭園の発展を願っております。



【日本庭園学会創立 30 周年記念 公開オンライン・セミナー シリーズ企画】

## 「庭と園に学ぶ～日本庭園・学のこれまでとこれから」

「三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。」

有名な論語の一節ですが、学会創設から 30 年。日本庭園学は確立されたのか、次の 10 年までに不惑の日本庭園学の展開はあるのか。そして、創立 50 周年にはグローバルに日本の庭園学の存在意義が認められるのか。

30 年という節目の年に、日本庭園学会のリーダーたちによる、オンライン・セミナー（リレートーク）「庭と園に学ぶ～日本庭園・学のこれまでとこれから」を開催することとしました。この企画は、学会主催ですが会員のみならず広く一般の方にも、日本の庭園学について、様々な実践智（現場の肉声）と思考智（研究の成果）をわかりやすく話題提供していただき、日本庭園学のこれまでとこれからを展望していく内容です。

Zoom 利用による事前登録制にて、毎回どなたでも、世界中のどこからでも、視聴・参加可能ですので、多くの方々の参加をお待ちしております。

## 「庭と園に学ぶ～日本庭園・学のこれまでとこれから」

### 開催概要

2021 年 11 月 6 日（土）開催の日本庭園学会関西大会を起点として、第 1 回目のオンライン公開セミナーを、キックオフイベントとして実施します。初回は、このシリーズの問題意識、日本庭園学のこれまでとこれから、今後の予定アナウンス、そして日本庭園学会創立 30 周年記念「U30 懸賞論文」募集説明等を含め 2 時間ほどのシンポジウムとします。

以後、毎週 1 回の予定で日本庭園学会理事・監事を中心に、30 名による 30 回のオンライン・セミナー（リレートーク）として実施します。

#### ■公開オンライン・セミナー準備回

（キックオフイベントとして関西大会にて開催）

11 月 6 日（土）関西大会公開シンポジウム「日本庭園学会の 30 年 関西からの提言」

※内容詳細は関西大会の案内をご覧ください。

#### ■30 回連続公開セミナー

1 回目から毎月曜日夜

（事前申込制公開 Zoom セミナー）

11 月第 2 週月曜日から毎週月曜日 18:00～19:30 1 時間前後で話題提供し 30 分程討議とします。参加費無料、定員 300 名、非会員も参加できます。30 回はすべて同じ Zoom リンクで入室できるので、初回に登録し、Zoom リンクを入手すれば次回の登録は不要です。

事前登録は Form（URL <https://forms.gle/eJ4mZuHbJuuhHpJN7>）にて申込情報をご入力ください（スマートフォンから下記の QR コードもお使い頂けます）。

Form を開けない方は、①お名前、②ご所属、③ Zoom リンク受信用電子メールアドレス、④会員 / 非会員の別を記載の上、[w.fujinohana@gmail.com](mailto:w.fujinohana@gmail.com)（藤田若菜）までお申込みください。

なお、電話・郵送でのお申込みに応じられませんのでご注意願います。



申込み  
QR コード

■日本庭園学会創立 30 周年記念 公開オンライン・セミナー スケジュール表 (2021.11.6-2022.06.19)  
 ※テーマについては、今後変更し更新することもあります。ご承知おきください。

No.	月日	曜日	時間帯	講師	テーマ (話題)
0	11月6日	土	関西大会 PM	公開シンポ	日本庭園学会の30年 関西からの提言
1	11月8日	月	18:00-19:30	大澤 伸啓	関東の浄土庭園をもつ寺院
2	11月15日	月	18:00-19:30	仲 隆裕	庭園の発掘調査と保存修復
3	11月22日	月	18:00-19:30	小野 健吉	庭園と観光
4	11月29日	月	18:00-19:30	足立 佳代	古墳と庭園
5	12月6日	月	18:00-19:30	栗野 隆	東京の近代庭園の魅力を探る
6	12月13日	月	18:00-19:30	今江 秀史	作庭家の意味と妥当性
7	12月20日	月	18:00-19:30	E・マレス	「昭和の作庭記」森蘊の作庭活動
8	12月27日	月	18:00-19:30	岡田 憲久	日本の庭 いまをつくる
休	1月3日	月	休日	—	—
休	1月10日	月	休日	—	—
9	1月17日	月	18:00-19:30	加藤 元信	ジョサイア・コンドルの日本文化研究
10	1月24日	月	18:00-19:30	佐々木邦博	城下町の庭園群と水路網、保全の可能性
11	1月31日	月	18:00-19:30	菊池 正芳	大名庭園の再生
12	2月7日	月	18:00-19:30	加藤 友規	『作庭記』と『築山庭造傳』にみる日本庭園の心と技
13	2月14日	月	18:00-19:30	関西 剛康	中世京都における公武禅による日本庭園の展開
14	2月21日	月	18:00-19:30	杉本 宏	平等院庭園を考える
15	2月28日	月	18:00-19:30	鈴木 久男	京都大原魚山大原寺里坊庭園について
16	3月7日	月	18:00-19:30	鈴木 誠	1000を超えた世界の公共日本庭園
17	3月14日	月	18:00-19:30	高瀬 要一	庭園修理における発掘調査の必要性和課題
休	3月21日	月	休日	—	—
18	3月28日	月	18:00-19:30	多々良美春	山口県版ガーデンツーリズムの可能性
19	※4月5日	火	18:00-19:30	玉井 哲雄	日本建築と庭園
20	4月11日	月	18:00-19:30	中島 宏	小石川後樂園における植栽の計画と管理
21	4月18日	月	18:00-19:30	中根 史郎	海外で日本庭園を造る



No.	月日	曜日	時間帯	講師	テーマ (話題)
22	4月25日	月	18:00-19:30	野村 勘治	庭のコンセプトとデザイン
23	5月2日	月	18:00-19:30	藤井英二郎	日本庭園の特徴と認知特性
24	5月9日	月	18:00-19:30	藤田 若菜	戦国大名・戦国武将が庭園を必要とした理由 <sup>わけ</sup>
25	5月16日	月	18:00-19:30	前田 義明	平安京の庭園遺構
26	5月23日	月	18:00-19:30	宮内 泰之	庭園植栽と地域の自然
27	5月30日	月	18:00-19:30	矢ヶ崎善太郎	建築と庭と際 <sup>きわ</sup>
28	6月6日	月	18:00-19:30	張 平星	日本の地質を凝縮した庭園の石材利用
29	6月13日	月	18:00-19:30	多々良 茂	大名屋敷における庭園と弓場・馬場の併存
30	6月19日	日	全国大会	公開シンポ	日本庭園・学のこれまでとこれから

注) 4月5日(火)のみ新学期のため、月曜日ではなく火曜日に実施します。

## 日本庭園学会創立 30 周年記念 U30 懸賞論文募集要項

「日本庭園への思い～日本庭園・日本庭園学会への夢と期待」

### 趣 旨

日本庭園学会創立 30 周年記念に際しまして、U30 懸賞論文を募集します。その目的は、日本庭園学会創立 30 周年記念公開オンライン・リレートーク「庭と園に学ぶ～日本庭園・学のこれまでとこれから」にて披露される、斯界のリーダーたちの思いとそれとを重ねて考察し、日本庭園学の未来を展望することにあります。

### 応募要項

#### 1. 論文テーマ

「日本庭園への思い  
～日本庭園・日本庭園学会への夢と期待」

#### 2. 応募資格

日本庭園学会創立年 1992 年以降生誕の 30 歳以下の個人。グループ等の共同執筆はできません。  
※応募資格は U30(30 歳以下)に限定するため、応募の際には生年月日(所属名称等)を記載してください。  
なお、授賞者には生年月日の確認をさせていただきます。

#### 3. 応募規定

- 論文は本人によるもので、日本語で書いたものに限りません。
- 応募は一人一編までとします。
- 文字数は 6,000 字以上～8,000 字以内に納めてください。
- Microsoft Word で作成し、様式は A4 版横書き、40 文字 40 行 (1600 字 / ページ)、文字のフォントは 10.5pt としてください。

- ・ 図表のある場合、図表を含めて5枚(8000字相当)以内とします。なお図表はページに占める割合で文字数に換算されます。
- ・ 応募原稿の表紙・参考文献は各々1頁以内とします。
- ・ 表紙および参考文献の文字数は字数制限に含まれません。表紙に所属名を入れてください。
- ・ 論文本文の文字数が制限を超過または不足した場合は、減点対象となります。

#### 4. 募集期間・発表時期

募集説明：2021年11月6日(土)

日本庭園学会関西大会(オンライン)

募集期間：

2022年3月1日(火)～2022年3月31日(木)

結果発表：2022年5月(入賞者のみ)

※受賞者以外は別途通知致します。

#### 5. 応募方法

- ・ 応募原稿の表紙ページに、論文タイトル、氏名、所属(学校名・企業名等)、連絡先住所、連絡先電子メールアドレス・電話番号、この企画をどのように知ったかを記入してください。
- ・ 応募論文(表紙並びに論文原稿一式)のファイルを、電子メールに添付し、下記アドレスの日本庭園学会事務局 懸賞論文係宛で、電子メールを用いて送付してください。
- ・ 原稿の受理確認のため、原稿が届き次第、記載された連絡先に電子メールにて受理連絡致します。
- ・ 応募後、1週間を過ぎても受理連絡がない場合には、学会事務局宛にお問い合わせ願います。

【応募・お問合せ先】

日本庭園学会事務局 懸賞論文係

電子メール：teien\_gakkai@gmail.com

電話：03-5477-2428(粟野隆理事)

#### 6. その他の留意事項および著作権等

- ・ 学校サークル、ゼミ、研究会、同好会、仕事仲間、趣味仲間、友人とのディスカッション

成果も歓迎しますが、論文は個人による応募に限り、一人一編の原則は変わりません。

- ・ 原稿は返却いたしません。
- ・ 著作権は作者に属しますが、将来、学会関係の出版物(学会誌・学会ニュース・書籍など)、ホームページに掲載することもありますのでご了承ください。
- ・ 参考文献は一覧にし、著書名・題名・出版社名(刊行学会誌名)・刊行年(発表年)・参考ページを必ず明記してください。なお、これらは文字数に含めません。
- ・ 図表等を引用した場合には出所を必ず明記してください。
- ・ 審査に関する問い合わせには一切応じられません。
- ・ 入賞者の年齢並びに所属(学校名・企業名など)は公表いたします。匿名公表はしません。
- ・ 応募にあたり記入頂いた個人情報、審査結果通知に付随する事項を行うためにのみ使用いたします。

#### 7. 賞

最優秀賞 1点 賞状・副賞

(賞金10万円及び学会入会10年間会費無償)

優秀賞 2点程度 賞状・副賞

(賞金5万円及び学会入会5年間会費無償)

特別賞 複数点 賞状・副賞

(賞金3万円及び学会入会3年間会費無償)

※最優秀賞および優秀賞受賞者は、2022年6月18日(土)・19日(日)福井市にて開催する、日本庭園学会30周年記念全国大会にて表彰を予定しています。

※奨学金等として賞金を支給し、日本庭園学会員(正会員相当)として入会を認め、受賞年度を含めてそれぞれ10年、5年、3年の期間、学会費を無償といたします。

#### 【会費納入のお願い】

学会費の納入額をご確認のうえ、納入のほどよろしくお願ひします。また、過年度滞納の方は併せて納入のほどよろしくお願ひします。

協力者：森本純代・荒川浩介(植彌加藤造園株式会社)

#### 日本庭園学会広報委員会

今江秀史、加藤友規

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-1

京都芸術大学日本庭園研究センター 気付

日本庭園学会関西支部事務局 FAX(075)791-9342